

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部ニュース

№. 297 2024年4月25日



発行 兵庫県保険医協会姫路・西播支部 支部長 正木茂博

連絡先 〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F

兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

他科を知る会

プライマリーサーベイで異常の早期発見を

支部は3月21日(木)に姫路市で開業する清水小児科の清水滋太先生を講師に、他科を知る会『小児救急対応のポイント』をじばさんびるで開催した。17人(うちZOOM14人)が参加した。参加した白岩一心先生の感想文を紹介する。

清水先生はご自身の作成された資料のほか、姫路市健康福祉局の地域医療課の編集した「子どもの急病ガイドブック」など多彩な資料を用いられ、小児科の最新医療の紹介にとどまらず、全身疾患の一分野としての「小児科専門医」としてのお話もうかがえ、感服する内容でした。

当日、私の住む赤穂郡上郡町では、前夜からの厳寒からの積雪で出席できないのではないかと思います。何とか出席し、ご講演に参加させていただいて、明日から、いや今日からの日常生活に、日常診療に、役立たせていただこうと思います。

小児科のお話ですが、見かけの症状に隠れた疾患を決して見落とさない「診断の大切さ、主訴の大切さと把握」は、新生児から高齢者までのすべての年齢にも共通し、歯科医療分野にも共通点があると強く感じました。

清水先生は、患者さんと保護者、家族の主訴の捉え方が多角的です。先生のクリニックに診察にお見えになられた、小児と保護者に対し、まずはスタッフの受付の方、看護師の方が、主訴を（訪問の目的）詳細に掴んでおられ、先生が、主訴をお聴きするときには、もう先生の脳裏では、確定診断の候補を絞り込むところまで進んでおられます。

先人の先生方の構築された内科学の深化をさらに確固たるものへと進行させておられ、凄いと思います。

(次ページに続く)



講演する清水小児科(姫路市)
の清水滋太先生

（前ページつづき）

「細やかで丁寧な診断と治療」「納得できる十分な説明と信頼感」「緊急時の判断を委ねる」も理念に掲げられ、地域に根付く真の「かかりつけ医師の信頼関係は当然」と、やわらかく語られたところも勉強になりました。

姫路市の休日夜間救急体制についての紹介も分かりやすい内容で、1次救急から、3次救急体制まである安心感を感じました。また、救急医療の小児電話相談対応結果によると、電話相談で85.4%の問題解決につながるという実状の紹介は、慌てる子どもの急な変化で戸惑う保護者や家族の安心と病院の救急体制の多忙さの減少にもつながることも大切なことと思います。

「聴診器1本で立ち向かうのが医療の基本」というのは、清水先生の信念ですが、長期の医師経験のある先生方も共感されるのではないのでしょうか？

「プライマリーサーベイ」という考え方が、今回の清水先生の一番大切にされておられることで、「瞬時に、気づけるか？見極められるか？」のための考え方と必要な手段の総称だと強調なされました。けれども、自己との葛藤に負けることなく、研鑽に励み、さらなる自己発展を目指されていることは、全ての職業にも通ずることですが、容易なことではないと思います。

私は、歯科医師として、口腔内は細菌感染が多く、どうしても抗菌剤に頼ることが多いのですが、薬剤耐性の問題から、無駄な抗菌剤使用の警鐘も訴えておられます。

市民感覚では、小児の発熱、意識、咳、痙攣、嘔吐下痢、発育についても興味深くお聴きしました。子どもの急病は、自分自身が親として経験し苦労をしてきましたが、質疑応答の際にも、温かい回答をしてくださいました。もがきながら子育てをしていた時間が、最も幸福な時だったのかもしれないと改めて感じた。

清水先生の最後の結びが、「その場しのぎ」ではなく、「経験を必ず、文字に起こすこと」、「そのエピソードは、つじつまが合うものなのか？」と自問自答し続けることで、その言葉から医療に対する醍醐味を強く感じました。

講演をなさる先生は、今までの経験を振り返りつつ、次のステップを目標に据えながら、熱く語られ、「生命の尊いこと」を強調され、今後の先生の御活躍を心から願うとともに、ご講演依頼を受けていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

機会があれば、また兵庫県保険医協会での講演や小児医療の最先端のさらなる啓発活動にも務めてくださることを願っています。

今回のご講演、本当にありがとうございました。

（追記）先生が参考文献から作成された、代償性ショックと低血圧性ショックの血行動態の図表、小児の年齢別の重症度を視認する、横軸に体温、縦軸に心拍数、呼吸数の図表を一人でも多くの先生方に活用してほしいと資料に含められた意義と、身近で起こり得ることで、決して隠れた鍵（症状）を見落とさないことに重点を置かれた3人の症例経験が印象深いです。重ねて厚く御礼申し上げます。

（赤穂郡 白岩歯科医院 白岩 一心）



講演する清水先生(左上)と講演を聞く参加者

ラジオ関西『兵庫県保険医協会の聞く医療』に櫻井俊治先生が出演



櫻井俊治先生(左)とパーソナリティの寺谷一紀さん(右)

ラジオ関西の協会提供番組「兵庫県保険医協会の聞く医療」に3月31日、姫路西播支部から櫻井俊治先生(神崎郡:マサキ・さくらい診療所)が出演した。櫻井先生は、パーソナリティの寺谷一紀さんとの掛け合いで「ストレスとおなかの病気」をテーマにわかりやすく解説した。当日の様子は番組ブログや協会ホームページ(<http://www.hhk.jp/topics/2023/1002-090000.php>)からもご覧いただけます。

健康情報テレホンサービス

通話料無料 **(0120) 979-451**



★24時間いつでも3分間程度の開業医の手作りの健康・医療情報を放送しています。

★インターネットでもご覧いただけます。過去の放送分もキーワード検索できます。URLは、<http://www.hhk.jp/>

左下のバナー「健康情報テレホンサービス」をクリック。

【2024年5月のテーマ】

- ・月曜日 視神経炎 ・火曜日 親知らずについて
- ・水曜日 肛門がん ・木曜日 おしっこのトラブル 神経因性膀胱
- ・金土日 糖尿病の運動療法 ※祝日は直前のテーマを放送します。

第366回幹事会だより

2024年3月21日(木) 於: じばさんびる

■姫路・西播支部の会員数

3/25 現在 医科444人、歯科261人

■主な議論、報告

- ・幹事会後に他科を知る会を開催し現地3名・Web14名合計17名が参加した。

■当面の支部活動

接遇研修会 6月22日(土)14:30～於: じばさんびる

■次回幹事会

4月18日(木)14時30分～ 於: じばさんびる

兵庫県保険医協会 姫路・西播支部企画 接遇研修会のご案内

接遇力アップと円滑な コミュニケーション

接遇を学ぶ理由

- 1) 自分たちの職場を安心安全な職場にするため
- 2) 患者さんが無礼だと感じる職員の態度は
悪意ではなく無知から起こっているため
- 3) 関係の質の向上が治療においてとても重要であるため

Think CIVILITY(クリスティーン・ボラス著)によると無礼な人は会社に損害をもたらす医療チームの誰かに破壊的な言動があった場合その71%がなんらかの医療ミスに結びついたというデータが紹介されています。医療機関の治療成果は医療機関内の誰かの無礼な言動によって実際に低下するとするならばコミュニケーションに対する学びが必須となります。ぜひご参加ください。

※年2回の研修実施が求められている医療安全管理研修会の一環ですので、受講者には受講証を発行いたします。



2024.6.22(土)

PM2:30-4:30



会場 じばさんびる601会議室

講師 (株)クリニックイノベーションサポート
永野整形外科クリニックヘルプデスク

永野光氏

参加費 1000円

定員 50人（先着順。定員になり次第締切らせていただきます）

6月22日 申込用紙 ※切り取らずにこのままFAXして下さい※FAX：078-393-1820

お問い合わせは協会事務局 杉本(TEL078-393-1840)まで

市町名：

医療機関名：

TEL：

FAX：

担当者：

参加者氏名	職種	経験年数	参加者氏名	職種	経験年数